

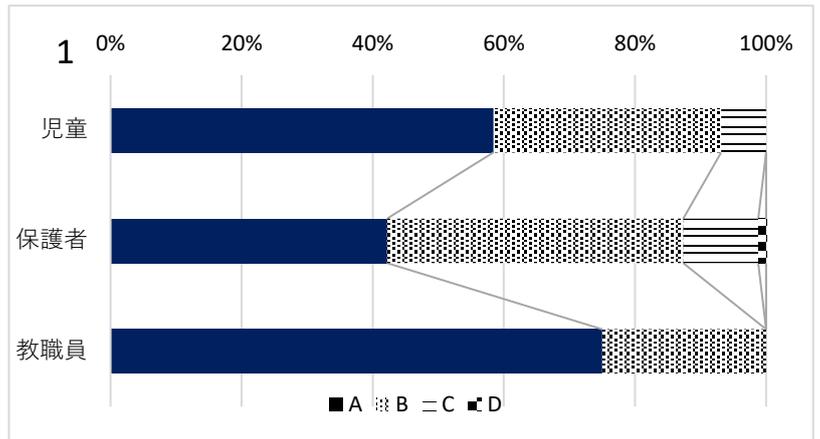
令和5年度 川崎市立下河原小学校 学校評価アンケート集計結果

(A:思う B:少しそう思う C:あまり思わない D:思わない)

① (児童) 学校の授業が「わかります」「たのしい」ですか。

(保護者) お子さんは、学校の授業が「わかる」「たのしい」と言っていますか。

(教職員) 学校の授業が「わかる」「たのしい」と感じる授業の工夫に努めていますか。

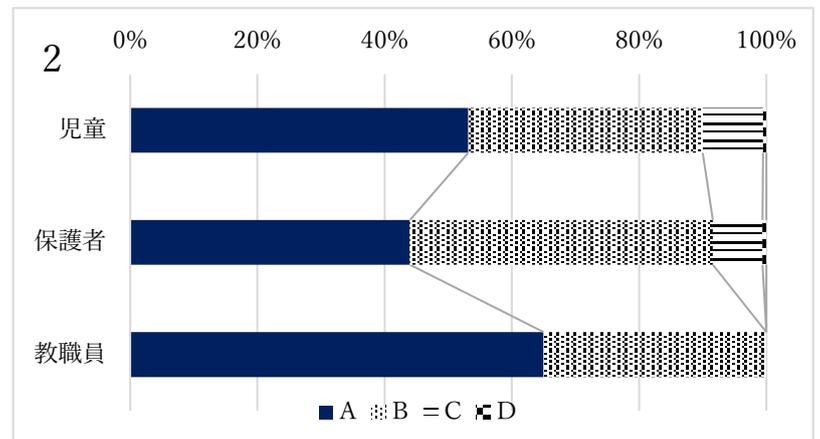


児童は90%以上がA・Bと回答、保護者はA・Bの合計値が80%台です。これは、昨年度と比べてほぼ同様です。教職員の「A思う」の回答が40%台から70%台に伸びました。ひき続き、「わかる」「たのしい」と感じる授業の工夫に努めます。

② (児童) 自分の思いや願いを伝えたり、自分で考えたりすることができますか。

(保護者) お子さんは、思いや願いを表現して、自分で考える力が身についたと思いますか。

(教職員) 思いや願いを表現して自分で考える力が身につく指導の工夫に努めていますか。

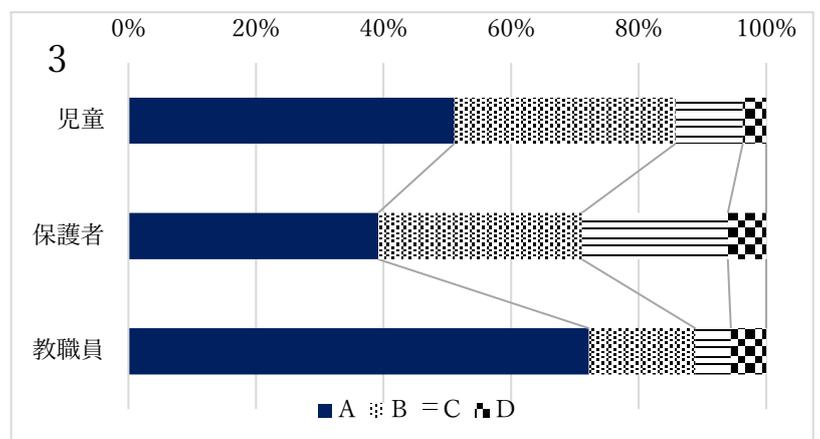


A・Bの合計値は、児童、保護者、教職員ともに昨年度とほぼ同様です。しかし、「A思う」の数値が3者とも5%以上伸びたことから、考えること、表現することへの自信がついてきたと読み取ることができます。ひき続き、主体的、対話的なかわりを通して学びを深め、豊かに表現する力の育成に努めます。

③ (児童) 家で自分から進んで学習や宿題に取り組んでいますか。

(保護者) お子さんは、家庭で自分から進んで学習(宿題も含む)に取り組んでいますか。

(教職員) 家庭で自分から進んで学習(宿題も含む)に取り組めるように、指導や声かけをしていますか。

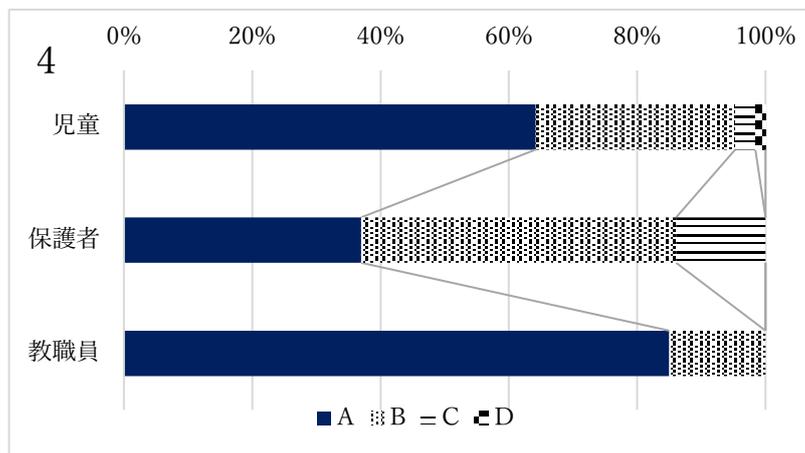


児童、保護者の回答はA~Dの比率を含め、昨年度とほぼ同様です。教職員の「D思わない」の数値が大きく増えました。アンケート項目の中で唯一、「D思わない」の割合が高い特徴があることから、家庭学習の在り方、必要性についての見解の差異が感じられます。

④ (児童) 話を聞いたり、みんなの前で話したり、文字や文章をかいたりすることができるようになりましたか。

(保護者) お子さんは、「話を聞く力」「話す力」「文字や文章を書く力」が伸びてきていると思いますか。

(教職員) 「話を聞く力」「話す力」「文字や文章を書く力」を伸ばす指導をしていますか。

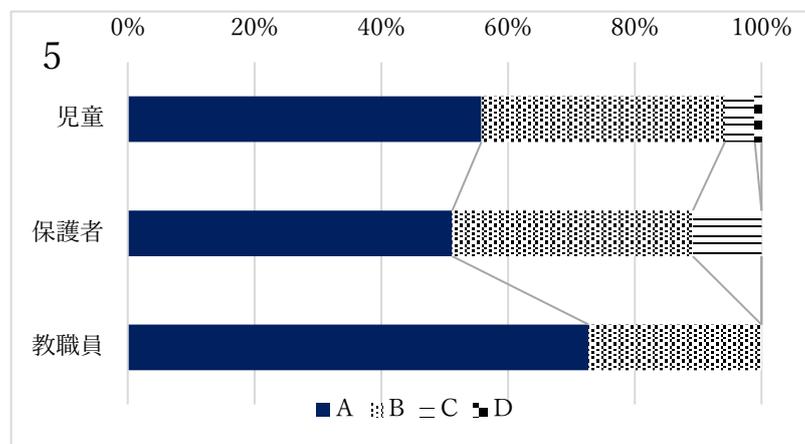


児童の「A思う」の回答は、昨年度から5%程度伸び、A・Bの合計値も高いことから、No. 2の項目と同様に一定の成果が表れています。教職員も85%近くが「A思う」と自信をもって回答しています。授業参観等の機会を通して保護者の方にも見ていただきたいです。

⑤ (児童) 家族や友達、先生方、来校者に進んであいさつをしていますか。

(保護者) お子さんは、進んで「あいさつ」や「ありがとう」を言う姿が見られますか。

(教職員) あいさつのよさを伝え、すすんでできるよう、はたらきかけるとともに、自ら手本となることができていますか。

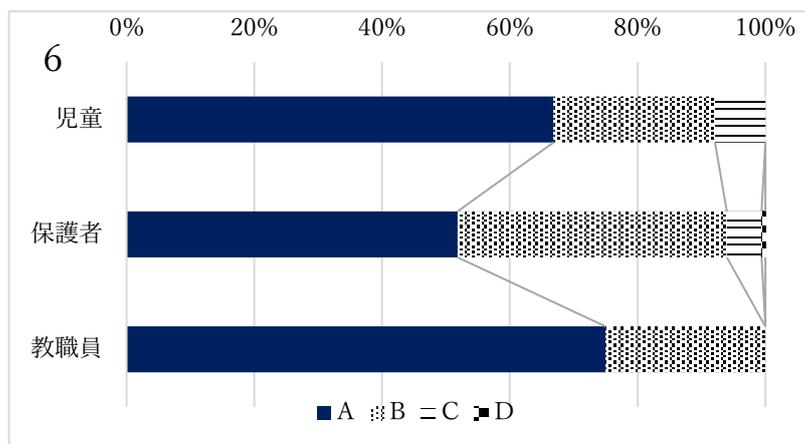


児童、保護者、教職員の半数以上が「A思う」と回答し、「B少しそう思う」を合わせると90%以上になっています。昨年度と比べて特徴的なのは、児童も保護者も「D思わない」と回答した人が減っていることです。行動の変容と捉えることができます。

⑥ (児童) 人に対して「やさしい気持ち」や「ありがとうと思う心」をもって毎日すごしていますか。

(保護者) お子さんは、「思いやりの心」や「感謝する心」が育ってきていると思いますか。

(教職員) 「思いやりの心」や「感謝する心」が育つように指導していますか。

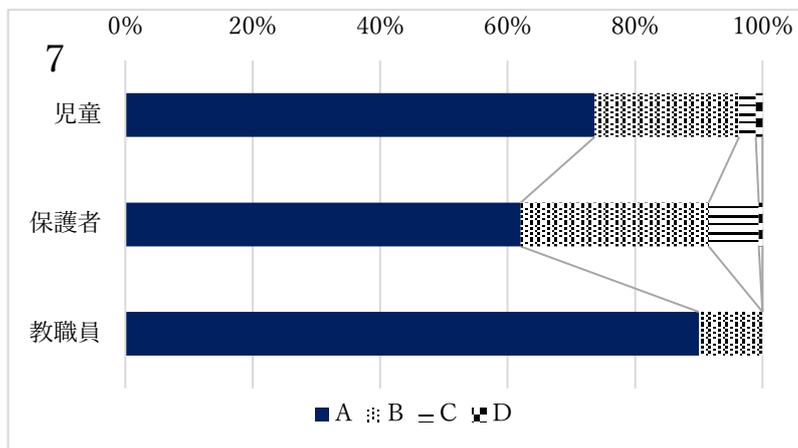


児童、保護者、教職員の95%近くがA・Bと回答し、高い数値を占めています。こちらも「D思わない」の回答が、昨年度は数%あったのに対して0%になり、一定の成果が表れていると捉えることができます。継続できるように指導していきます。

⑦ (児童) 友達と協力して活動したり、働いたりしていますか。

(保護者) お子さんは、友達と協力して活動したり、働いたりすることの大切さを理解していると思いますか。

(教職員) 友達と協力して活動したり、働いたりすることの大切さを伝えていきますか。

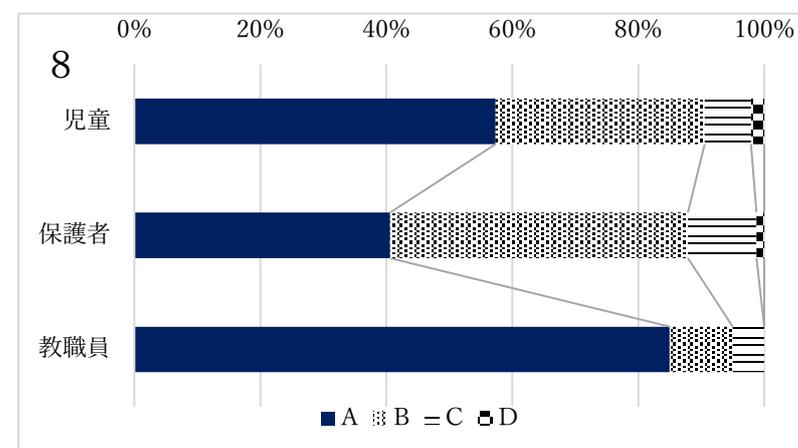


児童、保護者、教職員ともに90%以上がA・Bと回答しており、「A思う」の数値も高いです。No. 5 6. 7と共通している「他者とのかかわり」について成長が見られ、肯定感が高いことは、喜ばしいことです。下河原小学校の良さといえる部分であると考えられます。

⑧ (児童) めあてに向かって、粘り強く最後までやり通すことができますか。

(保護者) お子さんは、目標に向かって粘り強く最後までやり通していると思いますか。

(教職員) 目標に向かって粘り強く最後までやり通すための支援をしていますか。

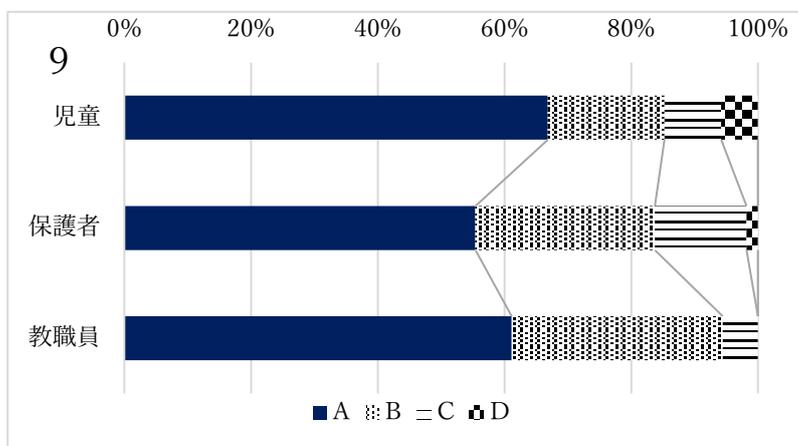


児童、保護者ともに、90%以上がA・Bと回答しています。昨年度と比べ、保護者の数値が少し上がりました。ひき続き、個に合った目標設定や努力過程の評価を丁寧に行い、励ましや支援をしていくことが、児童の成就感につながっていくように努めます。

⑨ (児童) 運動に進んで取り組むことができますか。

(保護者) お子さんは、運動に進んで取り組み、体力の向上に努めていましたか。

(教職員) 運動に親しみ、進んで取り組めるよう、はたらきかけることができますか。

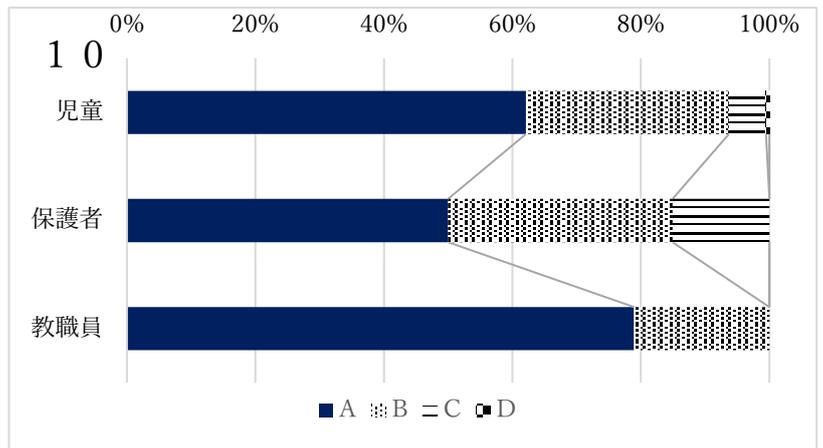


A・Bの合計値が児童、保護者ともに85%程度に留まっていますが、児童の「A思う」と回答した割合は、昨年度60%以下だったのに対し、今年度は60%を超えました。年間を通じ、体力向上に向けた取組を続けるとともに、来年度から予定している校庭開放も一助になればと考えます。

⑩ (児童) 手洗いや必要に応じた水分補給を毎日することができていますか。

(保護者) お子さんは、健康な生活を送るために、手洗いや必要に応じた水分補給に努めていましたか。

(教職員) 手洗いや必要に応じた水分補給を習慣づけられるように、指導することができていますか。

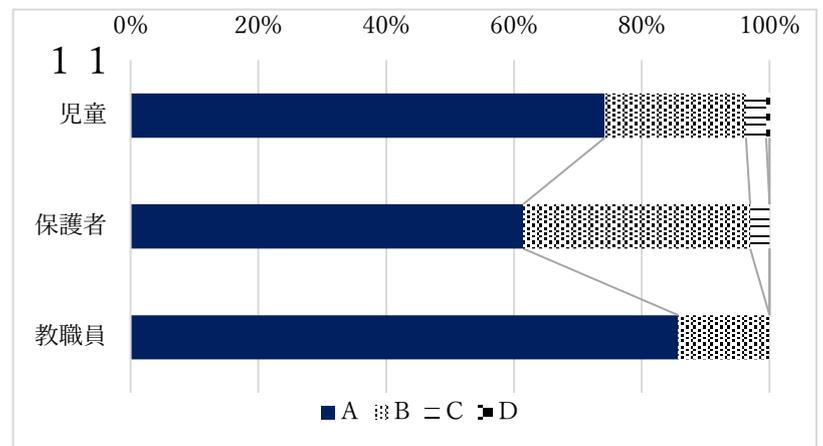


新型コロナウイルスの5類移行を受け、新たなアンケート項目となっています。児童は、A・Bの合計値が90%以上の回答となりました。学校は、コロナ禍同様に換気や手洗いの啓発に配慮したり、こまめな水分補給への声かけを行って来たりしました。今後も基本的な習慣を日常化していきます。

⑪ (児童) 学校のきまりや交通ルールなどを守って、安全に気を付けて生活することができますか。

(保護者) お子さんは、交通ルールや社会のルールを守って、地域の一員として生活している様子が見られますか。

(教職員) 学校のきまりや交通ルールなどを守って、安全に気をつけて生活できるよう、指導していますか。

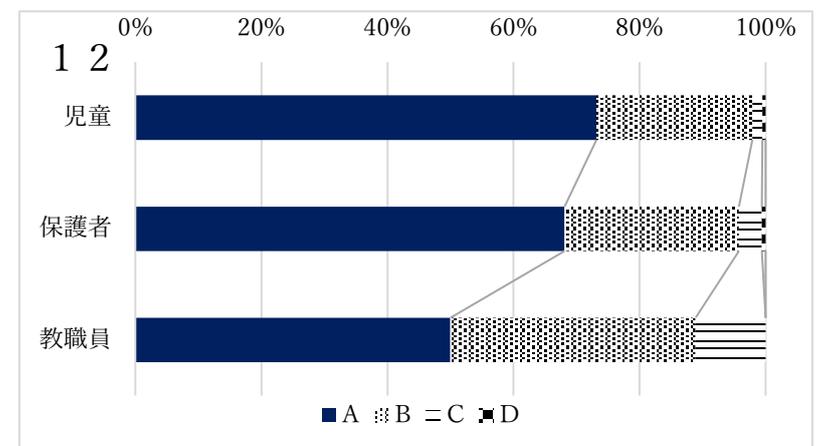


児童、保護者ともに、A・Bを合わせて95%以上の回答になっており、昨年度とほぼ同様です。安全に過ごすことへの意識の高さがみてとれます。気持ちにゆとりをもち、落ち着いて過ごすこと、遊ぶことができるように、ひき続き声かけをしていきます。

⑫ (児童) 地域の方に教えていただいたりふれあったりする学習は楽しいですか。

(保護者) 学校では、地域の方に教えていただいたりふれあったりする学習を取り入れています。お子さんは、この学習を楽しんでいると思いますか。

(教職員) 地域の方に教えていただいたり、ふれあったりする学習を楽しめるように授業を展開していますか。

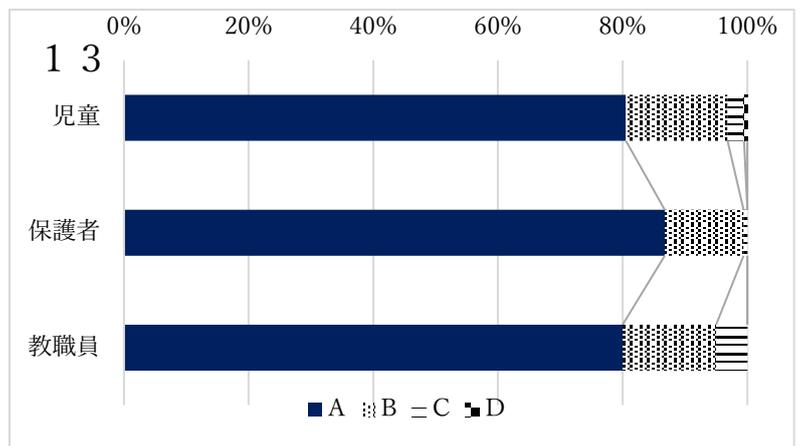


A・Bの合計値が全体(児童、保護者、教職員)として高い結果となりました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のための制限が解け、外部講師を招いたり、校外に出向いたりしての授業を計画する機会を増やすことができました。来年度も効果的な教育活動を精選して行っていきます。

⑬ (児童) 学校の行事に楽しんで参加していますか。

(保護者) お子さんは、学校で行っている行事に楽しく参加していると思いますか。

(教職員) 学校の行事に楽しく参加できるように活動内容を工夫していますか。



全体(児童、保護者、教職員)として、「A思う」が80%を超え、「B少しそう思う」を合わせると95%以上となっています。学校は、「コロナ前に戻す」のではなく、「新しいことを作っていく」という意識で、活動内容の工夫を考えてきました。来年度も児童の充実感につながる取組を計画していきます。